



自分自身と大切な家族を守るため 地震

地震 その時10のポイント

東京消防庁では、過去の地震災害の教訓を踏まえ、地震時の行動について「地震 その時10のポイント」にまとめました。ご家庭で本号を掲示するなどをして家族みなで、地震時の行動をしっかりと理解し備えましょう。

地震時の行動 (じしんじのこうどう)

グラツときたら 身の安全

地震の時は、まずテーブルなどの下で頭や体を守り、揺れがおさまるまで様子を見る。



地震直後の行動 (じしんちよくごのこうどう)

落ちついて 火の元確認 初期消火

火を使っている時は、揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をする。出火した時は、落ちついて消火する。



あわてた行動 けがのもと

屋内で転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する。



窓や戸を開け 出口を確保

揺れがおさまった時に、避難できるように出口を確保する。



落下物 あわてて 外に飛び出さない

瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくるので注意する。



門や塀には 近寄らない

屋外で揺れを感じたら、ブロック塀などには、近寄らない。



地震後の行動 (じしんごのこうどう)

正しい情報 確かな行動

ラジオやテレビ、消防署、行政などから正しい情報を得る。



確かめ合おう わが家の安全 隣の安否

わが家の安全を確認後、近隣の安否を確認する。



協力し合って 救出・救護

倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を近隣で協力し、救出・救護する。



避難の前に安全確認 電気・ガス

避難が必要な時には、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締め避難する。



消防法令違反の建物の情報がホームページで確認できます。建物の安全に関する情報が地図でも検索できるようになりました。

東京消防庁では、本年4月1日から建物や店舗を立入検査した結果、公表対象に該当した場合に、東京消防庁のホームページや消防署等の窓口で公表することとなりました。これは、平成21年11月に発生した高円寺南雑居ビル火災の状況やその後に行った緊急一斉立入検査の結果、多く

利用いただくため、また、地域コミュニティと連携して地域全体の安全意識を高めるために創設されたものです。

公表内容は、パソコンや携帯電話で消防法令違反の建物名称及び違反の内容などの情報を確認することができるほか、地図上で建物の安全に関する情報を確認でき、建物を安心して利用する時の目安となります。

公表の対象となる防火対象物

- ◆重大な消防用設備等の未設置違反があることを通知後、14日経過しても当該違反がある場合(すべての防火対象物)
- ◆過去3年以内の防火管理等の繰り返し違反を通知後、2ヶ月経過しても当該違反がある場合(防火管理者の選任義務がある建物で遊技場、カラオケ店、飲食店、雑居ビル等の用途)

外出時に地震が発生したら...

グラツときたら身の安全 頭をかばん等で保護しよう。



建物の壁際・塀際には近づかないようにしましょう。

空き地や公園に避難しよう。

キリトリ
の雑居ビルで消防法令違反が繰り返され、防火意識が希薄であることが明らかになったことを踏まえ、都民のみなさまが建物を安心してご